

令和 4 年 6 月 13 日現在

機関番号：82620

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2019～2021

課題番号：19K23564

研究課題名（和文）近現代建造物に適応した文化財保存理念の展開に向けた基礎的研究

研究課題名（英文）A Basic Study on the Development of Principles for Conservation adoptable to Modern Architectural Heritage

研究代表者

金井 健（Kanai, Ken）

独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所・文化遺産国際協力センター・室長

研究者番号：90359448

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、近現代建造物の文化財としての保護が現代社会の普遍的な営為として受容される諸条件を解明することを目的とした。はじめに、行政制度上の報告や施策、言説等から考察を行い、文化財の存立の根拠となる価値評価と保存の実践である文化財建造物の修理の間に業態的な分断があり、新しい文化財類型である近現代建造物では価値評価の方向と保存修理の方法が必ずしも整合していないことを示した。つぎに、近年のリノベーションの事例に注目して現在の一般的な建築行為における近現代建造物の価値の捉え方や改変の考え方を考察し、改修設計者に共通する近現代建造物に特有の価値評価や、その保存のための方法論が存在することを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

文化財建造物の保護は、絶え間ない保存の実践によって成り立っており、学術的な観点からは、保存のための技術や方法が保存科学、保存された建造物が建築史学等の研究対象とされることは多いものの、文化財保護のあり方そのものに焦点が当てられることは少ない。一方で、戦後の文化財建造物の対象の拡大と多様化に対して、保存の実践が追いついていない状況が常態化していることも確かである。本研究は近現代建造物に焦点を当て、学術的な観点から文化財建造物の保護の現状を整理・分析し、文化財の評価と保存の実践の間に生じる齟齬の原因を把握したものであり、今後の文化財保護の展開の方向性を展望するうえで社会的に意義があるものと考えられる。

研究成果の概要（英文）：This study aimed to elucidate the conditions under which the conservation of modern architectural heritage could be accepted as a general matter in modern society. First, reports, policies, and discourse on modern buildings as cultural property were examined in the context of administrative systems and found that there is a gap in business between value evaluation, the basis for the existence of cultural property, and restoration, the core practice of preservation. The results showed that the direction of value evaluation and restoration method is not always consistent for modern architectural heritage, which is a new type of cultural property. Second, focusing on general renovation cases, how the value of modern/contemporary buildings and the idea of modification in common architectural practice is examined. As a result, the unique value evaluation of modern/contemporary buildings and the methodology for their conservation/enhancement among architects in common were identified.

研究分野：建築学

キーワード：文化財保護行政 建造物保存 近現代建築 保存修理 保存活用計画

## 1. 研究開始当初の背景

日本の文化財建造物の保護は古社寺保存法（明治30年）の施行による社寺建築の保存に始まる。その後、文化財保護法（昭和25年）の施行により、文化財建造物の価値評価は古美術的な価値観の制約から離れ、社寺建築から近世民家、近世社寺、近代和風建築、近代化遺産、そして近現代建造物へと、その対象を徐々に拡大してきた。その結果として現在、指定文化財における近代の分類が占める割合は、重要文化財（建造物）の約15パーセントにおよび、重要文化財（美術工芸品）の約1パーセント、史跡の約2パーセントと比較して突出する状況となっている。この傾向は近代の文化財の保護を推進する目的で導入された登録文化財をみると更に顕著になり、登録有形文化財（建造物）の12,121件に対して、登録有形文化財（美術工芸品）は16件、登録記念物は110件にとどまっている（平成31年4月現在）。このように近代の建造物の指定・登録が進展する中で、従来の文化財とは異質な、近現代建造物の保護特有の課題が多く認識されるようになり、文化庁が設置した「近現代建造物の保存と活用の在り方に関する協力者会議」（平成30年）の報告では、文化財保護の総論として保存、修理、活用等で考慮すべき事項が示された。同報告の前提にも明示されているように、近現代建造物が従来の文化財と最も異なる点は、現代社会の経済的、基盤的な機能を担う、いわゆる現役の建造物が中心を占めることである。「重要文化財（建造物）の活用指針に関する調査研究協力者会議」（平成8年）の報告で、国宝保存法（昭和4年）以来の社寺建築由来の保存理念に基づく現状変更規制の仕組みが、現役の建造物を文化財から遠ざけているとの指摘が既にされている。しかし、文化財としての保存理念と現代的な機能の整合に関しては文化財分野からは埒外とみる向きも強く、こうした問題の解決には積極的に踏み込めていないのが現状である。その結果として、文化財にはかつて「釘一本打つこともできない」と揶揄された硬直的なイメージが今も一般に共有されており、特に近現代建造物の所有者には文化財の指定を忌避する傾向は依然として根強い。

## 2. 研究の目的

上記の文化財建造物保護と取り巻く現状と課題を踏まえて、本研究では、現代社会において近現代建造物が文化財として積極的に捉えられる共通認識として、文化財の保存理念を近現代建造物の関係者（ステークホルダー）間で共有しうるかたちに敷衍していくための諸条件を明らかにすることを目的とした。

## 3. 研究の方法

はじめに、文化財としての近現代建造物の位置づけと現状の文化財保護における課題の所在を明らかにするため、文部行政の通史や行政機関紙・広報誌等から文化財建造物の保護施策に関する報告や施策、言説等の収集し、近現代建造物が文化財の対象とされる経緯や保存の実践での対応等の整理と分析を行った。

つぎに、上記の分析の結果として把握された課題に基づいて、文化財保護における現状変更行為に着目し、現在の一般的な建築行為と文化財建造物の現状変更行為に接続しうる可能性を検討するため、具体的な近現代建造物の改修事例を収集して改修設計者の既存建物の価値の捉え方と改変の考え方の整理と分析を行った。

## 4. 研究の成果

文化財としての近現代建造物の取扱いに関する行政上の報告や施策、言説等の整理・分析は、「近現代建造物の文化財保存理念の展開に関する基礎的研究（その1）：文化財保護法下における「文化財」概念の創出と変容」にまとめ、以下の諸点を明らかにした。

1. 記念物建造物美術品等の総体を「文化財」とする認識は、「文化国家」の建設を目標に掲げた第二次世界大戦後の文部行政下で進歩的な諸政策が推進される中で、当時の行政機構を統治したGHQ/SCAPの影響を受けつつ、社会に存する文化的な財産を包括的に捉えるあたらしい概念として形成されたと考えられること、
2. 文化財保護法の成立によって、行政委員会制度による枠組みのもとで社会変化に応じた文化財の発見と評価が促進されることになり、価値評価の主軸がクロノジカルな観点からタイポロジカルな観点到に転換されたことが、文化財の対象が近現代建造物へと拡大する要因となったこと、
3. 近現代建造物の保存を最適化する文化財保護施策上のツールとして保存活用計画が規則化されたが、保存の実践を担う文化財建造物修理の世界にその趣旨の理解が浸透しておらず、その真価が十分に発揮できているとはいえないこと。

上記の結果から、文化財の存立の根拠となる価値評価と保存の実践である文化財建造物の修理（保存修理）の間に業態的な分断があることが、近現代建造物の文化財としての保護を進めるうえでの根本的な課題と考えられた。この課題を打開していく糸口として文化財における現状変更の考え方に注目し、現在、正当な現状変更行為として位置づけられている「当初復原」に相当する、近現代建造物の価値評価に応じた未だ発見されていない現状変更の見方を開拓することを目的として、建築行為一般における近現代建造物の価値の捉え方や改変の考え方を考察し、文化財における現状変更の仕組みへの応用の可能性を検証することとした。

国内の建築作品の竣工事例を掲載する建築専門誌を対象として2000年4月から2021年3月

までに掲載された267件の近現代建造物の改修事例を収集し、改修設計者の既存建物の保存に対する態度に注目してⅠ～Ⅴに分類した(表1)。このうち既存建物に対する価値判断及び工事内容に保存を含む各事例(Ⅰ～Ⅲ)について、改修設計者の価値の認識と改修方法の分析を行い、文化財における現状変更に関係する近現代建造物特有の価値の捉え方や改変の考え方として、以下の諸点を見出した。

1. 「保存のグラデーション」「身体再生」「保修」「延築」「不在のデザイン」といった独自のキーワードで示される、改修設計者の創意に基づく保存の方法論に従って改修を実践する事例があること、
2. 「原設計」の意図や思想等を保存の主たる対象として、文化財的価値の向上を図る意図のもと、既存建物の部材や空間の同一性よりも形質的な整合性に重点を置いた改変を行う事例があること、
3. 「愛着」「面影」「原風景」といった、物・空間が宿す精神的な側面の存続・強化を設計主旨に掲げた集合住宅の改修、また現役の建物としての修繕行為を要因とする改修の中に、建築時から継続する維持管理の延長線上に既存建物が有する価値の向上・創出を位置づける事例があること。

1. については、逆に保存の判断を与条件に依存し、改修設計者が主体的には保存に関与しない事例もあり、こうした傾向は要求される保存の度合いに比例して、既指定の文化財では文化財部分の修理を改修の対象から極力除外する方法あるいは修理を上位においた片務的な役割分担を取る方法が主流となっている傾向がみられた。したがって、文化財建造物の保護を近現代建造物に広く展開・発展させていくためには、1.のような改修設計者の建築観と文化財保護理念を双方向につなぐ基盤を構築することが必要になると考えられた。

2. については、従来の文化財建造物の保存では、文化財的価値の主体として物理的な形体や部材の存続に主眼が置かれ、現代的な機能要求に基づく形体の変更や部材の取替えは文化財的価値を毀損するものとみなされてきたが、「原設計」の意図や思想に文化財的価値の所在を求めた場合、機能要求による改変は必ずしも文化財的価値の存続と矛盾するものではないことを示している。したがって、こうした見方を含みうるかたちに現状変更の仕組みを見直すことが近現代建造物の保護を展開していく上での有効な手段になると考えられた。

3. については、建築当初から設計事務所や施工会社が継続的に関与している事例が多いことが一つの特徴としてみられた。現在の保存修理の世界では、近世に培われた伝統木造の修繕の手法がその基盤をかたちづけていることから、近現代建造物では、3.の事例に用いられる手法を保存修理の側に積極的に取り入れていくことが適切と考えられた。

上記の近現代建造物の改修事例の整理・分析は、「近現代建造物の文化財保存理念の展開に関する基礎的研究(その2):「新建築」誌掲載の改修事例にみられる保存の認識と改変の論理」にまとめたが不採択とされたため、後継研究の「近現代建造物の価値評価における同時代性に着目した文化財の現状変更概念の再考」(21K04474)において、研究方法を見直して再度の整理と分析を行っている。

表1 近現代建造物の改修事例一覧

	件名	文化財	建築年	改修年	設計	施工	説明文(要約)	掲載誌
	1 旧京都中央電話局西陣分局舎/西陣産業創造会館	重文	1921	2016	NTTアパリアス	吉原工務店	電話局の歴史の重層性を表出させる改修	SK1903
	2 奈良国立博物館なら仏像館	重文	1894	2016	美生総合計画事務所	奥村組	既存躯体を尊重する新たな仏像展示空間	SK1701
	3 旧高岡製糸場西置園所	重文	1872	2020	文化財建造物保存技術協会	竹中・増屋JV	建物の状態と守るべき価値を見極める保存修理	SK2103
	4 旧普通寺僧行社・附風樓	重文	1903	2008	文化財建造物保存技術協会、 堀江建築工学研究所	奥村組、藤木工務店、 富士建設	保存の創造性と使い続けるために必要なこと	SK0901
	5 明治生命館	重文	1934	2005	三菱地所設計	竹中工務店	重要文化財を使い続けるために	SK0605 ALJ2008
	6 東京駅丸の内駅舎	重文	1914	2012	JR東日本建築設計事務所	鹿島・清水JV	東京駅丸の内駅舎保存復原における設計の基本理念	SK1211 ALJ2015
	7 京都鉄道博物館	重文	1914	2016	JR西日本コンサルタンツ・東亜JV	大成建設	歴史や文化が変わる場をつくる	SK1606
	8 東京都庭園美術館	(重文)	1933	2013	久米設計	戸田・小沢組JV	創建時の日欧建築の同時代性	SK1501 ALJ2016
	9 清泉女子大学本館	(重文)	1915	2010	三菱地所設計、竹中工務店	竹中工務店	清泉女子大学本館耐震改修	ALJ2013
	10 八幡浜市立日土小学校	(重文)	1956-	2009	日本建築学会、 和田耕一、武智和臣	一宮工務店、小西建設	日土小学校の保存再生がくれた夢	SK0911
	11 早稲田大学大隈記念講堂	(重文)	1927	2007	佐藤総合計画	戸田・熊谷JV	変わらないものと変わりゆくもの/生き続けるための処方箋	SK0711 ALJ2010
	12 大阪市中央公会堂	(重文)	1918	2002	坂倉・平田・青山・新日設JV	清水・西松・大鉄JV	保存・再生工事の概要・構造補強について/保存における復原	SK0212 ALJ2007
	13 旧長井小学校第一校舎	登録	1933	2019	鈴木建築設計事務所	那須建設	地域の人々の「記憶」に「アイデンティティ」を継承する旧校舎	SK2005
	14 大倉集古館	登録	1927	2019	谷口吉生建築設計事務所	大成建設	大倉集古館の保存再生	SK1911
	15 旧山口葛吉邸	登録	1927	2018	竹中工務店	東京理建	「対比的調和」による空間の再構築	SK1903 ALJ2020
	16 京都四條南座	登録	1929	2018	大林組	大林組	南座の保存と再生	SK1901
	17 通天閣	登録	1956	2015	竹中工務店	竹中工務店	通天閣免震レトロフィットプロジェクト	SK1603
	18 半田赤レンガ建物	登録	1898-	2015	安井建築設計事務所	清水・七番JV	歴史的建築物の保存と活用	SK1510 ALJ2018
	19 東京国立博物館黒田記念館	登録	1928	2013	安井建築設計事務所	真柄建設	空間デザインの継承と改修	SK1501 ALJ2014
	20 ルネスホール旧日銀岡山支店	登録	1922-	2005	佐藤建築事務所、岡山県	大本組、共立土建	歴史遺産の新たな社会的役割/時間を連続させた保存、 同調するリノベーション	SK1110 ALJ2007
	21 東京大学安田講堂	登録	1926	2014	千葉学/東大、香山壽夫	清水建設、関電工、日本装芸	新たなシンボルとしての安田講堂の改修	SK1506 ALJ2019
	22 東京大学法学部3号館	登録	1927	2012	香山壽夫建築研究所	安藤建設	内田ゴシック建築の上方への展開	SK1211
	23 名古屋大学豊田講堂	登録	1960	2008	権総合計画事務所	竹中工務店	対話としてのデザイナー名古屋大学豊田講堂の保存と再生	SK0807
	24 時陣の倉庫	登録	1896	2017	福島加津也、高水祥子	清水建設	考古学としての建築	SK1903 ALJ2019
	25 大多喜町役場	(登録)	1959	2012	千葉学建築設計事務所	大成建設	引き継ぐもの、新たに加えるもの	SK1204
	26 石川県政記念いのき迎賓館	(登録)	1923	2010	山下設計	大成・兼六JV	歴史の重層性と、新たな文化創造の息吹き	SK1010 ALJ2012
	27 京都芸術センター	(登録)	1931	1999	佐藤総合計画	太平工業	無題	ALJ2003
	28 旧イタリヤ大使館夏季別荘	(登録)	2000	2000	レモト設計事務所	東武建設	無題	SK0010
	29 本福の塔	(登録)	1970	2018	昭和設計	大林組	仮設建築物から恒久的な展示施設としての内閣再生の試み	SK2005
	30 京都市美術館	(登録)	1928	2019	香木洋・西澤徹夫JV	松村組	変わっているのに変わらなことをつくるために	SK2005
	31 五島美術館	(登録)	1960	2012	清水建設、 堀越英嗣/アーク715	清水建設	佇まいの記憶を継承することのクリエイティブディ、 吉田五十八建築の継承と保存	SK1211
	32 国際文化会館本館	(登録)	1955	2006	三菱地所設計	清水建設	「再生保存」の第一歩	SK0609 ALJ2008
	33 立教大学本館(1号館/モリス館)	都選定	1918	2012	日本設計	清水建設	何事もなかったように100年を迎えてもらうこと	SK1209 ALJ2014
	34 旧富士銀行横浜支店映像文化施設	市認定	1929	2005	権総合計画事務所	大成建設	商店街の中の大学	SK0510
	35 横浜赤レンガ倉庫1号館・2号館	市認定	1911-	2002	新屋千枝都市建築設計	竹中工務店	赤レンガ倉庫一歴史の建築物との対峙	SK0206
	36 立教大学第1食堂	都選定	1918	2002	坂倉建築研究所	清水建設	無題	SK0206
	37 ホテルニューグランド本館	市認定	1927	2016	清水建設	清水建設	最新技術と手仕事で変わらない姿を保存する	SK1703
	38 明治屋京橋ビル	区指定	1933	2015	UA建築研究室・清水JV	清水建設	明治屋ビルの改修保存と再生	SK1502 ALJ2017

	件名	文化財	建築年	改修年	設計	施工	説明文(表題)	掲載誌	
I	39 慶應義塾大学日吉寄舎南奈	市認定	1938	2012	三菱地所設計	清水建設	初期谷口建築の改修、オリジナルの復元と現代の使い勝手に合わせた改修	SK1402	
	40 港区立郷土歴史館等複合施設(ゆかしの社)	区指定	1938	2018	日本設計、大成建設、JR東日本、香山書土建築事務所	大成建設	「リビング・ヘリテージ」として「内田ゴシック」を再生する	SK1804 ALJ2020	
	41 ジュームス邸	市指定	1934	2012	竹中工務店	竹中工務店	時の記憶を次世代に繋ぐ、消えゆく近代建築の持続的持続への転換	SK1303 ALJ2015	
	42 石橋迎賓館	-	1933	2014	松田平田設計、清水建設	大成建設	無題	ALJ2018	
	43 綱崎三井倶楽部	-	1913	2009	フルード・ゾディアック	清水建設、三井住友建設	無題	ALJ2011	
	44 日清製粉ミュージアム	-	1910	2012	清水建設	清水建設	歴史建築・庭園の保存・再生による企業文化の継承	ALJ2015	
	45 マーチエニョー神田万世橋	-	1912	2013	JR東日本建築設計事務所	戸田建設	記憶の伝承と革新	SK1310	
	46 小林小傳記念美術館・小林吉彦邸	-	1934	2020	日本建築設計事務所	大林組	小林吉彦邸の誕生と修復までの経緯、小林吉彦邸復原事業	SK1903	
	47 坂下五反田ビル・クリスタルビー	-	1971	2015	日建設計	竹中工務店	既存に忠実に、新たな技術で再現する	SK1812	
	48 東京藝術大学国際芸術リソースセンター	-	1965	2018	山本圭介、堀端 正、神田喜夫、橋本久道、吉松秀樹	高工	附属図書館の歴史的改修	SK1102	
	49 東京カトリック聖マリア大聖堂	-	1964	2008	丹下都市建築設計	大成建設	100年建築を目指して	SK1203	
	50 千代田区立日比谷図書館	-	1961	2011	保坂 隆一郎建築研究所	大林・久保工業JV	既存躯体を利用してリニューアル	SK0907	
	51 武蔵野美術大学(流の台)4号館	-	1964	2008	戸原建築設計事務所	清水建設	武蔵野美術大学4号館再生に向けて	SK0806	
	52 白の家	-	1966	2008	芦原 浩司建築研究所、TOMO空間研究所、台湾宏規	松下産業	「白の家・移築」という再築	SK0507	
	53 萬葉舎継承空間	-	1951	2005	陽野建築都市設計事務所、ミズル・ワイニ	大成建設	保存/クリエイション	SK1606	
	54 東京経済大学大倉倉庫八郎道一層館	-	1968	2014	佐藤総合計画	大成建設	都市を牽引する感性と大学の再生	SK1506	
	55 若人の広場	-	1966	2015	丹下都市建築設計	森茂・栗田・太田JV	平和を願う人びとのための広場の再生/補修・復元・耐震改修	SK1205	
	56 東京都美術館	-	1975	2012	前川建築設計事務所	大成・名工・山口JV	上野の社と共にほのかな未来の時間を刻み続ける美術館へ	SK1409	
	57 東京大学あひはな記念講堂	-	1963	2014	機軸総合計画事務所	竹中工務店	キャンパスの集いの場の再生	SK1303	
	58 立教大学 聖ウルスラ礼拝堂	-	1963	2013	日建設計	清水建設、西松建設	学校のシンボルを次世代に繋ぐ	SK2002	
	59 東京国立博物館東洋館	-	1968	2012	安井建築設計事務所、国交省	大林組	上野の社の価値の継承と発展	SK0712	
	60 東京国立近代美術館	-	1969	2001	国交省、坂倉建築研究所	鹿島・松村JV	無題	SK0902	
	61 ドメイヌ・ドゥ・ミニ	-	1941	2007	旧版審議記録と保存の会、坂倉建築研究所	北野建設	「旧版審議」保存と再生のプロセス	SK0902	
	62 フランス大使公邸	-	1957	2008	みかんぐみ、竹中工務店	竹中工務店	時間と素材の重ね合わせ	SK1603	
	63 西条福アパート	-	1958	2016	都市再生機構、URUケーン	澁沼組	歴史を引き継ぎビジュアル・デザイン・リノベーションの改修	SK1603	
	64 日本橋テラー屋敷	-	1928	2016	三井住友建設設計事務所	竹中工務	空間の掛けを生かすための耐震補強	SK0608	
	65 本道学舎	-	1915	2006	近角建築設計事務所、集工舎建築都市デザイン研究所	戸田建設	武田五一の主軸による11の音楽曲	SK2003	
	II	1 大丸心齋橋本店	-	1922-	2019	日建設計、竹中工務店	竹中工務店	新しい価値の創造に向けて、継承、創造、発信	SK1804
		2 北葉樓札幌本店	-	1926	2016	安藤忠雄、竹中工務店、西島設計	竹中、三組建設、東洋建設工機	建物再生による都市の活性化	ALJ2018 SK1410 ALJ2017
		3 日本橋ダイバールディング	都選定	1930	2014	三菱地所設計	竹中工務店	保存と継承により伝統を築き、使い続けるための技術	SK1404
		4 ダイビル本館	-	1928	2013	日建設計	大林組	歴史を引き継ぎ新たな賑わいを創出する	SK1211 ALJ2014
		5 JPタワー	-	1931	2012	三菱地所設計、マフヤン	大成建設	新旧の対比による都市景観の創造、保存と復元的整備	SK1110
		6 東北大学(片平)インテグレーション教育研究棟	-	1924	2011	三菱地所設計	戸田建設	環境化された壁とストリート系ポイド	SK0905 ALJ2010
		7 北区中央図書館	-	1919	2008	佐藤総合計画	安藤・佐伯・高橋JV	歴史へ貫入し未来へ繋ぐ	SK0507 ALJ2007
		8 大阪証券取引所ビル	-	1935	2004	三菱地所設計・日建設計JV	大林・竹中・大成JV	都市資産の継承と発展を目指して	ALJ2003
		9 旧大林組神戸支店	-	1908	2000	大林組	大林組	旧大林組神戸支店外壁保存	SK0305 ALJ2006
		10 日本工業倶楽部会館・三菱信託銀行本店ビル	登録	1920	2003	三菱地所設計	清水建設、大成建設	都心に建つ歴史的建築物の保存再生	SK2009
		11 ザ・ホテル青龍京橋清水	-	1933	2019	東急設計コンサルタツ、大林組	大林組	地域の歴史を繋ぐ番組小学校のコンバージョン	ALJ2020
		12 旧名古屋銀行本店ビル/ザ・コンダールハウス	市景観	1926	2018	三菱地所設計	竹中工務店	失われゆく年の近現代建築を活用するために	SK1013
		13 本町三喜	-	1931	2012	清水建設設計事務所	清水・東武・谷内田JV	時のプロセスと現代の技術のオーバーレイ	SK0712 ALJ2012
		14 新風館	市指定	1926	2001	NTTファジィテック、リサーチ・ロイヤル	清水建設	無題	SK0705 ALJ2008
		15 霞が関コモンゲート・中央合同庁舎第7号館	-	1932	2008	久米・大成・新日鉄JV	大成・新日鉄・日本電設JV	都市再生の中核プロジェクト	ALJ2002
		16 東京大学工学部2号館	-	1924	2005	類設計室	清水・戸田・鴻池JV	歴史的キャンパスに浮かぶ「巨大」施設	SK1308
		17 横浜情報文化センター	市認定	1929	2000	日建設計	鹿島・和同JV	無題	SK0411
		18 文化学館	-	1937	2008	坂倉建築研究所	鹿島建設	文化学院の理念・空間の継承/旧校舎の保存	SK0411
		19 交詢ビルディング	-	1929	2004	清水建設	清水建設	歴史の記号と最新の光を纏って	SK1203
		20 東京大学総合図書館	-	1928	2021	香山書土建築研究所、東大	清水建設	時間の器	SK1603
		21 ロームシアター京都	-	1960	2015	香山書土建築研究所	大林組	現代に求められる機能に応じてモダンズム建築を改修する	SK1301
		22 東京芸術劇場	-	1990	2012	松田平田設計、香山書土建築研究所	奥村・近藤JV	良質な骨格の公共建築だからそのリノベーション	SK0711
		23 国立科学博物館本館	(重文)	1931	2007	香山書土建築研究所	大林・カガフトーJV	国立科学博物館の改修設計	SK0401 ALJ2006
		24 横浜税関本館	市認定	1934	2003	香山・アールJV	戸田・銭高JV	構造的損傷の保存・改築・増築について/中庭増築部について	SK1407 ALJ2017
		25 北九州市立戸畑図書館	-	1933	2014	青木茂建築工房	鴻池・丸鉄JV	歴史的建造物を保存する	SK1308
		26 光第1ビル	-	1974	2013	青木茂建築工房	E-ス建設	既存を生かしながら更新する	SK2002
		27 兜町平和第6ビル	-	1923	2020	SPEAC、三菱地所設計	シノボト建設	町並を新時代の金融街として再生する、都心に埋もれた歴史的建造物を発掘	SK1907 SK1405 SK1309 SK1007
		28 弘前れんが倉庫美術館	-	1920s	2019	田根剛、NTTファジィテック、スー・YCAM	スー・YCAM・大林・南JV	公共性	SK1307
		29 Mitosaya葉菜園蒸留所	-	1980s	2018	中山英之建築設計事務所	沢工務店	小さな読みかえの積み重ねで新たな機能を与える	SK1309
		30 オアシス U2	-	1943	2014	Suppose Design Office	大成建設	大きな公共性	SK1007
		31 直島宮浦ギャラリー	-	1980s	2013	西沢平良建築設計事務所	鹿島建設	直島について	SK1408
		32 タブロイド	-	1980s	2010	オーフェン・シューザン	北野建設	Building as Media/魅力ある「部分」の見極めと継承	SK1202
		33 国立国会図書館国際子ども図書館	都選定	1906	2002	安藤忠雄建築研究所、日建設計	鴻池組	無題	SK2008
		34 プラウド上原フレステ	-	1984	2020	竹中工務店	竹中工務店	経年でも壊れられない価値の継承/再生と「進化」	SK1702
		35 ひばりがけの岡地ひばりテラス118	-	1959	2015	杉山恒彦、アーキテクトラボ	大和ハウス工業	街区を超えたエリアマネジメントの活動拠点	SK1502
		36 櫻川出水団地第1棟・第2棟	-	1950s	2014	アール・アイン	3i/工務店	古都戦後復興のシンボル/堀川団地の実験的住居	SK1408
37 コーンハイツ千歳鳥島山住棟		-	1950s	2014	青木茂、雨宮知彦/首都大、JKK東京ほか	日時工務店	団地・公共集合住宅の再生、既存の建築形式を継承する再生計画	SK1202	
38 親月橋団地		-	1960s	2012	オーフェン	日本総合住生活	半世紀前の設計者たちから、バトンを渡されたような仕事/プロジェクトを共有する方法を継承する	SK1108	
39 たまむすびテラス		-	1956	2011	ビタ、ブルースタジ	長谷工リホーム	民間と協働での団地再生/点在する「ノードとコモン」	SK2101 SK1805	
40 名古屋テレビ塔		登録	1954	2020	日建設計	竹中工務店	「大地と団地」集積した歴史を住み繋ぐ	SK1701	
41 日比谷シャンテ		-	1987	2018	竹中工務店	竹中工務店	「劇場型日比谷」賑わい再生計画	SK1503	
42 春日大社国宝殿		-	1973	2016	弥田俊男設計建築事務所	大林組	境内の再編と、建築の継承と新生のあり方	SK1701	
43 船場センタービル		-	1970	2015	石本建築事務所	熊谷組	船場のイメージの一新、都市遺産の再生へ	SK1410 ALJ2017	
44 裏原高級ホテル		-	1983	2014	竹中工務店	名工建設	廃校になった高校を庁舎へとコンバージョンする	SK1303	
45 水見市庁舎		-	1969	2014	山下・浅地JV	イノコストラクショ、小松原工務店	新しいものを古いものに馴染ませる	SK0902 ALJ2008	
46 東京大学生産技術研究所アニーヴァーサリール		-	1960	2012	遠藤克彦建築研究所、今井 太郎	清水建設	ストック社会のモデルとして	SK0406	
47 松田平田設計本社ビル		-	1960-	2006	松田平田設計	清水建設	無題	SK0202	
48 鎌倉大学図書館		-	1936	2006	日建設計	松井建設	無題	SK2003	
49 東京大学工学部時計記念館		-	1925	2003	川崎 隆、京大	清水・大林・鹿島JV	京大のシンボルを継承	SK1701	
50 茨城県立図書館		-	1970	2000	日建設計	竹中工務店、関和建設JV	無題	SK1804	
III		1 香川県庁舎東館	-	1958	2019	松田平田設計、大林組、丹下都市建築設計	大林・菅JV	文化的価値を継承した改修	SK2003
		2 国立代々木競技場	-	1964	2019	丹下・久米JV	清水建設	レガシーとして活用するための改修/歴史的建物と向き合う	SK1703
		3 山梨文化会館	-	1966	2016	丹下都市建築設計	三井住友建設	これからの50年間使い続けるための改修	SK1911
		4 意欲アビースクエア	市景観	1974	2019	浦辺設計	藤木工務店	工場建築を起源とする新しい空間の出現	SK1804
		5 意欲国際ホテル	市景観	1963	2019	浦辺設計	藤木工務店	100年建築を目指すホテルの長寿命化改修	SK1408
		6 神奈川県庁新庁舎	-	1966	2018	坂倉建築研究所、機軸総合計画	大成・京急・大洋JV	歴史的景観の継承と事業継続性強化の両立	SK1302
		7 杉並区立中央図書館	-	1982	2020	日建設計	興建社・矢島JV	時と時間の影	SK2103
		8 近三ビルディング	都選定	1931	2015	竹中工務店	竹中工務店	考えぬかれた建物を育て続ける	SK1603
		9 川崎市宮原町住宅	-	1970s	2012	大林組	大林・大東・相鉄・小俣JV	耐震補強のプロトタイプを目指して	SK1804
		10 大手町ビル	-	1958	2020	三菱地所設計	大成建設	100年建築を目指して	SK1603
		11 新橋三井ビルディング	-	1974	2015	KAJIMA DESIGN	鹿島建設	良質な都市資本の蓄積	SK1804
		12 御堂ビル	-	1965	2017	竹中工務店	竹中工務店	「ACTIVE BASE CAMP」の考え方、フロア・部門間を吹き抜けと階段で接続する	SK1703
		13 東京タワー	登録	1958	2018	日建設計	竹中工務店	東京タワー平成大改修	ALJ2014
	14 北海道庁庁舎	-	1968	2016	竹中工務店、ト・コン	竹中、久彦建設、田中組	設備機能の移転更新と免震化を同時に行う技術	ALJ2014	
	15 百十四ビル	-	1966	2011	日建設計	竹中工務店	百十四ビル(外壁等改修)	SK0711	
	16 日本大学理工学部駿河台校舎5号館	-	1959	2008	清水建設	清水建設	日本大学理工学部駿河台校舎5号館免震レトロフィット	SK0510	
	17 三井東宝ビル	-	1986	2007	安井建築設計事務所	大成建設	20年の経ち、これからの使命/変えないリニューアル	SK2001	
	18 三井東宝ビル	-	1982	2003	坂倉建築研究所	大成・住友建設、岸田JV	20年目のさらけ出し変化	SK2001	
	19 INAXライブミュージアム・家のある広場・資料館	登録	1921	2019	日置拓人/南の島工房	市田建設	煙突・窯・煙囪の改修で歴史を残す/100年間の「ものづくり」の熱を未来に繋ぐ	SK1508	
	20 保土ヶ谷駅前ハイソ	-	1982	2014	ADH、久我建築研究所	イノコストラクショ	総合的価値による付加価値向上	SK1212	
	21 つるぎ町立半田小学校	-	1960s	2012	多田義昭建築設計事務所	松考建設	学び舎の再生 つるぎ町立半田小学校耐震改修、機能的価値の向上と長寿命化	SK1205	
	22 近畿大学33号館・39号館	-	1966	2011	NTTファジィテック	東急建設	機能的価値の向上と長寿命化	SK1110	
	23 神宮内宮参集殿	-	1969	2011	土屋辰之助771E、高橋潤建築設計事務所	堀崎組	内宮参集殿改修について	SK0607	
	24 東京工業大学緑が丘1号館	-	1967	2006	東工大、安田幸一、竹内敬	清水建設	「攻め」の耐震補強	SK0607	
	25 タキイ種苗本館・別館	-	1960s	2006	アールセッション	奥村組	建築の寿命を100年に伸ばす、ガラスと鋼を使った新しい耐震システム	SK2012	
IV	1 日比谷OKUOROJI	-	1910-	2020	交建設計、東鏡工業	東鏡工業	協働で生まれた共有空間、新たな回遊を生む結節点	SK2012	
	2 むさしのエコーゾート	-	1984	2020	水谷俊博建築設計事務所、相和技術研究所	立花建設	まちづくりの連携拠点をつくる	SK2012	
	3 東京メトロ銀座駅	-	1934	2020	日建設計	大成建設	誰にでもわかりやすい空間、100年の歴史を誇らせ、これからの100年の付き合い方を示す	SK2012	
	4 寺町立図書館	-	1993	2020	サルハス	中道組	既存公共建築を解きほぐす、平成建築のリノベーション	SK2010	
	5 東京ミズマチずみだりパーワーワーク	-	1931	2020	大野設計	東武内田建設	既存構架を活用した遊歩道—すみだりパーワーワーク	SK2003	
	6 アキマンサンス	-	1981	2020	佐藤総合計画	澁沼・日・ヒト・技業JV	校庭のなかの新しい校庭		

	件名	文化財	建築年	改修年	設計	施工	説明文(表題)	掲載誌
Ⅳ	7 ザ・パークレックス博多	-	1985	2019	馬場正尊/オプナー	JS&ビルイファ	輪転機の記憶を残す空間の再構築	SK1911
	8 南麻布のフラッグ	-	1992	2018	オプナー	福田リュウ	パブリック時代の歴史を刻む	SK1902
	9 麻布ヒルテック	-	1987	2018	元木大輔/DDA	吉澤 淳	「隣に置くこと」による既存の取り扱い	SK1805
	10 ものつくり創造拠点SENTAN	-	1970	2017	豊田市、丹羽英二建築事務所	畑田建設	地域に根ざしたものづくり拠点の創出に向けて	SK1804
	11 福山市本通・船町商店街アーケード	-	1951-	2016	UID	大和建設	中心市街地の賑わいと商店街の未来、商店主たちとの対話から生まれるデザイン	SK1609
	12 大阪市大学理学系学舎	-	1962-	2016	東郷建築事務所	戸田建設	新機と改修機との役割分担	SK1603
	13 丘のまち交流館・biyell	-	1980s	2015	小澤丈夫、宮城島崇人ほか	清水組	3つ自立した建築の重ね合わせ	SK1603
	14 福岡市交流施設「道の駅保田小学校」	-	1970s	2015	NASA設計共同	東海建設	小学校の記憶を受け継ぐ	SK1601
	15 ホンノタニ団地	-	1965-	2015	ブルースタジオ、小田急建設	大和/小田急建設	人と人、人と街が繋がる駅前団地	SK1508
	16 シェアハウス 聖蹟桜ヶ丘	-	1963	2015	UTX、吉谷サキ建築設計事務所、廣設計室	京王建設	緩やかに共存するシェア型賃貸住宅	SK1507
	17 道の駅ファームス木川台	-	1990s	2015	スターハイロウ	サツタマ	生産する公共空間	SK1507
	18 SHARED HOUSE「ハハ八夜」	-	1970s	2014	2.0不動産	伊藤智寿夫・2.0不動産	手開けかけて自分たちの居場所をつくる	SK1402
	19 シェアハウス 東神奈川99	-	1962	2013	リバー、リワイテ「ドハロ」	京王建設	既存の形式を継承し再生する	SK1312
	20 飯田の家	-	1969	2013	アドリアン・エイ、坂本一成研究室	畑田建設	改築 飯田の家	SK1310
	21 アーツ前橋	-	1987	2012	水谷俊博建築設計事務所	松田・藤川・橋詰JV	まちへひろがる美術館づくりに向けて	SK1309
	22 伊吹しまつくりラボ	-	1970s	2012	みかんぐみ、岡昇平、豊設計事務所	豊設計事務所	そこに存在するものからつくり出す	SK1308
	23 さくらアートメント	-	1974	2013	ブルースタジオ	ユヅキ	長く生き続ける賃貸住宅の魅力	SK1307
	24 武蔵野図書館	-	2000	2013	スチオナリ、佐藤総合計画	五光建設	「気」をデザインする、市民価値を創造する図書館	SK1301
	25 かぜのび	-	1983	2010	飯田善彦建築工房	本家建設	小学校に美術館を滑り込ませる	SK1101
	26 浜松サラー	-	1981	2010	青木茂建築工房	鹿島・神野JV	築29年の複合ビルを居ながら再生する	SK1011
	27 横浜国立大学パワープラントスタジオ	-	1975	2009	横田大、末光弘和、仲俊治	建設工業	横浜国立大学のキャンパス再編/7-GSA Power Plant Studio	SK1011
	28 養老院のホール	-	1970s	2009	藤子弘弘、河合俊和ほか	大光建設	品格を刻みながらの再生	SK0912
	29 長良末次大学	-	1971	2007	7-7建築研究所	清水建設	旧中学校の建物を活用し、連続させるキャンパス計画	SK0806
	30 Villa Vista	-	1981	2007	第一生命、飯田善彦建築工房	日本建設	この場所の建築に新しい価値を与え、緩やかに街を更新する	SK0708
	31 YKK50ビル	-	1984	2006	宮崎浩/ラックアソシエイツ	第一建設	再生し続けること	SK0612
	32 古寺島丸	-	1938	2004	隈研建築都市設計事務所、ジゼル・テイニ	竹中工務店	丁寧な時間の重層	SK0503
	33 八女市立福島中学校屋内運動場	-	1961	2004	青木茂建築工房	高松・オオ村JV	無難	SK0406
	34 日光露降-マープルハウス	-	1970s	2003	山崎一研究室	東洋建設	時間の並立と対立の中に	SK0402
	1 海岸町坂	-	1919	2019	橋設計	三井・内藤JV	商業施設から住宅へのコンバージョン	SK2103
	2 内野ロータリー水川台	-	1975	2020	青木茂建築工房	内野建設	余白の設計、合理性と開放性	SK2102
	3 白井屋ホテル	-	1975	2020	藤本社建築設計事務所	冬木工業	立体的な空間を内包させてつくる場所	SK2101
	4 メタルラボのアネックス	-	1980s	2019	明治大建築計画研究室	イートハレスト	混じり合わないエレメントによる全体性への接続	SK2003
	5 テラス沼田	-	1991	2019	アラヴァソシエイツ	沼田・鹿屋・角屋JV	「普通の建物」を使い続けるための「構築」	SK2003
	6 真庭市中央図書館	-	1980	2018	青木茂建築工房	三木・三和JV	築37年の鉄筋コンクリート造庁舎を木質インフィルにより	SK2003
	7 香月メダカビル	-	2000	2018	三菱地所設計	内野建設	新築補強・増築・模様替え・修繕によるリファインディング	SK1912
	8 京都みなみ会館	-	1963	2019	外-アーキテクト	アラエ	商業施設から住宅へのリファインディング	SK1911
	9 フジヒロ	-	1960s	2019	坂本卓、O.F.D.A.	滝口建設	街角に「みそ」を注ぎ日常へのアプローチ	SK1909
	10 竹中工務店東京本店	-	2004	2018	竹中工務店	竹中工務店	新たな価値創造を目指して	SK1904
	11 ハンディラボ	-	1980s	2018	ハンディラボ/ロジック	ハンディラボ/ロジック	「誰でもつくれる」という行為から生まれる建築	SK1904
	12 ハマ崎島SA	-	1969	2019	百枝優建築設計事務所	藤井建設	新たなライフスタイルのための新たな建築	SK1904
	13 海の音Terrace	-	1980	2018	つばめ舎建築研究所	セキヤチ・テムテック	新たな暮らしを築ける教育7ハートメント	SK1802
	14 ログ	-	1963	2018	成瀬・猪熊建築設計事務所、片々	増岡福島本店	湯通の原風景をかたちにする	SK1902
	15 高尾山スカミカ	-	1978	2018	成瀬・猪熊建築設計事務所、片々	京王建設	山の地形で見えて	SK1809
	16 アンソレイユ木川台	-	1977	2017	青木茂建築工房	内野建設	耐震補強・増築・模様替え・修繕によるリファインディング	SK1808
17 パークテアラ北馬込	-	1967	2018	青木茂建築工房	三井不動産/ウォーム	共同住宅業店舗のリファインディング	SK1804	
18 秋田オーバ	-	1974	2017	青木茂建築工房	鉄線・ツバキJV	衰退する駅前に賑わいを取り戻す	SK1804	
19 半蔵門ミュージアム	-	2011	2017	東京総合計画事務所	竹中工務店	均質なオフィスから豊密なミュージアムへ	SK1708	
20 ヒルトップマンション	-	1971	2016	横田大・GSA	ネゴ	ファジーノードとなる場のデザイン	SK1708	
21 コットンハウス	-	1988	2017	横田大・Y-GSA	ネゴ	ファジーノードとなる場のデザイン	SK1708	
22 葉又ふて	-	1970s	2017	オプナー、塚越宮下設計	ウツ/ウツカゴシマ	黄さんの公共空間	SK1705	
23 クズミ電子工業藤沢新工場	-	1998	2016	安井雅裕建築研究所	加和木建設	リノベーションにおける既存建物の新たな活用方法	SK1703	
24 チンクン	-	1980	2016	大納谷建築設計事務所	エック	ワンルームに滞在する専有部と共用部	SK1702	
25 大東商業館	-	1980s	2016	大納谷建築設計事務所	大納谷介/リ	耐震補強と改築(切り壊められた)美術館	SK1612	
26 釣りづつタワ	-	2003	2016	三井不動産/ウォーム	竹中工務店	ソフトな建築として、ソフトなフレキシブル	SK1610	
27 釣りづつタワ	-	1978	2016	三井不動産/ウォーム	竹中工務店	広島の過去と未来を繋ぐ「動く素材」	SK1609	
28 十日町市民交流センター「分じろろ・十じろろ」	-	1990s	2016	青木茂建築設計事務所	沼田建設、植木組	市民活動のためのふたつのリノベーション	SK1609	
29 日南市油津商店街多世代交流モール	-	1987	2015	水上哲也建築設計事務所	大日建設	持続可能な商店街再生を支える	SK1609	
30 APARTMENT	-	1960s	2016	アトアト/ウツ	アトアト/ウツ、POS建築設計事務所	アートの実験場から人が住まうエリアへ	SK1608	
31 横浜国立大学経済学部講義棟2号館	-	1980s	2016	高橋一平、野口直人、横田大・Y-GSA、自立建設設計	イノコンストラクション	建築を自然に近づける	SK1606	
32 グローバルキッズ館藤田橋こども園	-	2006	2015	石嶋設計室、のぞみ計画室	ジュネス	室内空間のある保育所	SK1605	
33 SodaOco	-	1971-	2015	ブルースタジオ	西松建設	子どもクリエイターの「育つ」が出来るまちのビル	SK1603	
34 京都リサーチパークガズビル3号館	-	1993	2015	日建設計	大林組	最上層のスポーツ施設群の大胆な転用	SK1603	
35 (賃貸共同住宅)	-	1977	2015	オプナー	第一建設工業	均質な郊外からの脱却	SK1602	
36 小松精練ファブリックラボラトリー「fa-bo」	-	1968	2015	隈研建築都市設計事務所	清水建設	しなやかな耐震構造	SK1601	
37 ハートランド	-	1993	2015	NTT都市開発	ウツ	新たなビルをモデル構築へ、着手による試み	SK1510	
38 東京電力八重洲ビル	-	1970s	2015	157アト	西松建設	住宅に開かれた商業施設	SK1507	
39 東京電力大学食堂	-	1971	2015	HATOZ/DE/ユ	錦興サマエ	学生が主体となり、居場所の創出	SK1506	
40 君田そらのにわOGINAU	-	1997	2015	六次デザイン専門学校、山谷建築設計事務所	加藤組	君田そらのにわ、OGINAU	SK1505	
41 ja kagu	-	1960s	2014	隈研建築都市設計事務所、清水建設	清水建設	倉庫と街を繋げるリノベーション	SK1503	
42 ブルポルトコーヒー清澄白河ロススター&カフェ	-	1980s	2014	スギノ建築計画	TANK	相互に高め合う関係性の設計	SK1503	
43 (O)KOTO	-	1970s	2014	ADH	1/4ノ産業	1,000,000の創出	SK1502	
44 城野田地	-	1970s	2014	オプナー	日本総合住生活	標準仕様となる最小限リノベーション	SK1502	
45 花畑田地27号棟	-	1960s	2014	都市再生機構	九州建設	建築が再編する風景	SK1408	
46 千駄ヶ谷緑苑ハウス	-	1970	2014	青木茂建築工房	山田建設	耐震補強の手法	SK1408	
47 緑苑の窓	-	1980s	2013	増田信吾、大坪克己	ウツ	うまく回る状態	SK1405	
48 S17フォーラム1	-	1988	2013	KINO7-キヤク	かじりけい	かじりけいのようなリノベーション会社として	SK1402	
49 不動前ハウス	-	1976	2013	mm	N.F.C. 北原隆志	再建築不可物件、既存の骨格を生かした改修	SK1402	
50 みずのき	-	1960s	2012	竹原隆二/無有建築工房、森義孝	西松建設	住まいの本質を再構築する	SK1310	
51 おひさまさん	-	1990s	2012	古森弘一建築設計事務所、森義孝	安井組	ひとりひとりの居場所	SK1310	
52 市原湖美術館	-	1995	2013	川口有子・郷仁倫/有設計室	山内工業	自然とアートの一体化	SK1309	
53 カモ井加工第三製造工場倉庫	-	2000s	2013	武井誠 鍋島千恵/TNA	藤木工務店	繊細な工場の新しい風景	SK1309	
54 九州大学製図室	-	1974	2013	古森弘一建築設計事務所	千堂工務店	古さと新しさ	SK1309	
55 中野三丁目の子ラスハウス	-	1980s	2013	オプナー	大宮建設	テラスハウスを再考する、庭との繋がりを考える	SK1308	
56 既存建築物建築資料館	-	1971	2012	宮城島崇人、無有建築工房	西松建設	建築の思い出を再現する	SK1204	
57 NEWLAND	-	1980s	2012	T/ヤニス、177建築設計事務所	アパレル	人工物と自然を寄り添わせる	SK1303	
58 高志の国文学館	-	1978	2012	伊藤藤行/CAN	日本海建築・三由・JS&NJ、酒井建設	屋敷と自然、展示棟/蔵と土間、庭園とライブラリー/	SK1301	
59 千葉大学アカデミックリンク	-	1972	2011	佐藤総合計画	安藤建設	アカデミックリンク/ひらめきの図書館	SK1209	
60 カモ井加工第三製図室史料館	-	1970s	2012	武井誠 鍋島千恵/TNA	藤木工務店	点在していた場所を連続する	SK1207	
61 JX25号台アト230号棟	-	1968	2012	オプナー	NIPPO	階層型中層共同住宅の次世代への可能性	SK1206	
62 アーツビルと木保両面	-	1969	2011	佐藤隆二/無有建築工房	西松建設	階層型中層共同住宅の次世代への可能性	SK1204	
63 THE SHARE (シェアオフィス・レジデンス)	-	1962	2011	UTX設計、ソウ	佐藤隆二	築40年、文化と価値が交錯するシェアの基点	SK1202	
64 YS BLD. (共同住宅)	-	1970	2011	青木茂建築工房	安井工務店	既存ストック問題に対する回答として	SK1108	
65 日東薬品 Ceato-anni Hall	-	1990s	2011	K/P/イン/ア/キヤク	安井工務店	工場を開く	SK1107	
66 マルヤガーデン	-	1961	2010	みかんぐみ	清水建設	生まれ変わる地方の商業施設	SK1105	
67 愛媛県農業高等学校本校館	-	1963	2010	野沢正光建築工房	小沢建設	減築・耐震化・太陽熱気システム導入	SK1104	
68 清瀬川や木川331	-	1978	2010	青木茂建築工房	カガト一/坪井JV	既存建物を未来に繋げる構築	SK1104	
69 アーツビルと木保両面	-	1969	2010	佐藤隆二、少田サチ	森義孝	階層型中層共同住宅の次世代への可能性	SK1102	
70 川崎市立御幸小学校	-	1979	2009	遠藤建築設計事務所	藤本社・高橋JV	変化に対応する学校建築	SK1011	
71 東北大学川内厚生会館	-	1969	2010	東北大、針生栄一建築研究所	奥田建設	川内キャンパスのオアシスを目指して	SK1010	
72 内田洋行本社ビル	-	1971	2010	内田洋行	大林組	ユビキタス・プレイングへの挑戦	SK1007	
73 土佐くらしお鉄道中村駅	-	1970	2010	ネリス/ス/イ/オ/ス	佐竹建設	地方都市での私的空間と公共空間、境界を越えて、	SK1007	
74 山梨市庁舎	-	1970-	2008	神設計	ゾウ	工場から庁舎へ-動物向きコンバージョン-	SK1003	
75 びつとろ(地域交流施設)	-	1969	2008	近藤善雄建築設計事務所	平成建設	町、敷地、建物、都府を対する	SK1003	
76 高島平団地2-26-4号棟	-	1972	2008	下屋下/ADH	菊池建設	暮らしのデザインの可能性、構造と意匠のコラボレーション	SK0907	
77 聖心女子学院創立100周年記念ホール	-	1968	2008	安藤忠雄建築研究所	竹中工務店	新旧の一体計画で生まれるもの	SK0907	
78 横浜国立大学自然科学系総合研究棟Ⅱ	-	1975	2009	北山恒一、大原一興、田中賢	中島建設	からみ合う知の雑木林	SK0906	
79 浜田山の集合住宅	-	1970s	2009	菊池宏建築設計事務所	佐藤建築	周辺と色	SK0902	
80 SAYAMA FLAT	-	1978	2007	スキマ建築計画	ミヤコトホーム	郊外におけるリノベーション	SK0808	
81 CUI	-	1963	2008	東京電力設計、アパ/キ/カ/サ/ン	中野建設	都市的ストックのリノベーション/	SK0808	
82 大島製菓所美術館	-	1909	2008	三井不動産/ウォーム	大木組	建築設計の住宅から賃貸マンションへの再活用	SK0805	
83 南洋堂書店	-	1980	2007	菊池宏建築設計事務所	月造	光と動線	SK0803	
84 brood	-	1990s	2005	三分一博志建築設計事務所	五洋建設	地球も認める商空間へ	SK0603	
85 海の資料館「時間の船」	-	1980-	2005	青木茂建築工房	定田建設	時間の船をつくる	SK0512	
86 月影の郷(宿泊施設)	-	1971	2005	NASA設計共同	高瀬組	地域再生と相互作用する大学教育のプログラム	SK0509	
87 quaranta 1966	-	1966	2005	第一生命、竹中工務店、日本建設	日本建設	何を残し、何を壊し、何をどう、何をどうか/	SK0506	
88 IPSE都立大学	-	1968	2005	青木茂建築工房	五洋建設	既存建物との対話	SK0506	
89 上小沢邸	-	1959	2004	JIN建築設計事務所	春日建設	既存建物との対話	SK0506	
90 松屋銀座	-	1925	2004	大成建設	大成建設	銀座の老舗パーオ	SK0412	
91 早稲田大学本店Dトリエ	-	1970	2004	山下設計	戸田・竹並建設JV	外皮をどう改修-設備と空間のシステム	SK0411	
92 京王八王子山川クリニック	-	1990s	2002	藤本隆男建築研究所	不破工業	再生の建築/継連の建築	SK0403	
93 泉多摩テラスハウス	-	1985	2002	藤本隆男建築設計事務所	前案	無難	SK0304	

Ⅰ 既存建物の存続を設計上の課題として、その保存を前提とした改修方法を主眼に据えるもの  
Ⅱ 既存建物の存続を設計上の課題としつつ、利活用上の要求に基づく建物性能の改良を前提にして、可能な限り保存する方法を工事内容の主題に掲げるもの  
Ⅲ 既存建物の存続を主とする条件として、基本的には保存を設計上の課題とするが、既存建物の現状を維持・修繕する方法を工事内容の主題に掲げるもの  
Ⅳ 利活用上の要求に基づく建物性能の改良・更新を主とする条件として、保存を設計上の課題にしながら、工事内容の一部に保存を含むもの  
Ⅴ 既存建物の価値判断及び保存に関する工事内容の旨が不明なもの

備考  
・ 文化財欄の( )は改修後の指定を示す。  
・ 建築年の「-」は時期が異なる複数棟からなるもの、( )は研究代表者による推定を示す。  
・ 掲載誌欄は「新建築」を「SKyymm」、「日本建築」を「JAjyyyy」と略記する。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 金井健	4. 巻 86
2. 論文標題 近現代建造物の文化財保存理念の展開に関する基礎的研究（その1）：文化財保護法下における「文化財」概念の創出と変容	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3130/aija.86.1804	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------